

2-2 都市づくりの基本理念

将来都市像を実現するための柱となる都市づくりの基本理念は、次のとおりとします。

(1) 新しい産業や文化が生まれる都市づくり

国内外に知られる存在感のある創造都市の実現を目指すため、これまで培ってきた産業や文化を充実させるとともに、新しい産業や文化が高崎から発信されることで、従来の産業集積の維持・強化に加え、デジタル技術や再生可能エネルギーを活用した研究・開発機能などの新たな立地需要に応える産業の拠点の形成を進めます。また、中心市街地においては、コンベンション機能をはじめとした情報発信機能の充実を図ることで、新しい産業や文化が創造、発信される都市づくりを進めます。

(2) 人口動態にあわせて柔軟に対応する都市づくり

人口減少と高齢化が同時に進行する局面でも、誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、地域の個性を生かしながら、高崎駅周辺の都心拠点や地域拠点等についてコンパクトな都市の形成を進めます。

中心市街地については、新幹線や高速自動車道の高速交通網を生かし、国内外から人・もの・情報を集積させ、都市機能のさらなる充実を図るとともに、人々が憩い集う快適な都市空間を実現する魅力ある拠点づくりを進めます。

郊外部の住宅地においては、住み続けられる環境やコミュニティを維持するために、暮らしに必要な生活サービス施設の維持や、公共交通等の自家用車以外の移動サービスの維持確保を図ります。また、田園・集落地においては、都市計画法等の運用により、無秩序な宅地開発を抑制し、豊かな自然環境の保全を行います。

(3) 利用者が最適な交通手段を選べる都市づくり

人口減少と高齢化のさらなる進展による交通需要の変化に対応し、誰もが安全で快適に移動できる社会の実現に向けて、道路や公共交通等のネットワークを整備するとともに、市街地においては歩行者の回遊や自転車等のモビリティの利用環境を改善します。

(4) 頻発化・激甚化する災害に対する安全・安心な都市づくり

災害リスクを未然に回避する視点と、災害発生後の被害拡大を低減する視点の双方から、地域特性にあわせた防災機能の向上を図るとともに、災害発生時における円滑な支援活動や迅速な復旧・復興を可能とする都市基盤の形成を進めます。これらの取組により、防災・減災を重視した都市づくりを進めます。

(5) 地球環境と身近な環境を大切にする都市づくり

脱炭素社会の実現を目指すため、まとまりのある豊かな自然環境の保全を継続して行うとともに、官民施設における太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を促進します。また、身近な水辺空間や緑地などにふれあう場を形成し、環境と共生した都市づくりや景観づくりを進めます。さらに、歩行者や自転車の利用者に優しい道路空間の整備と公共交通の利用促進を図ります。